

# ORIGIO® Gradient™ 100

## 密度勾配法用メEDIUM

### プロトコール

1. 任意の密度勾配液を作製する場合は、右のチャートを参照し、ORIGIO® Gradient™ 100 と ORIGIO® Sperm Wash を調整してご使用ください。

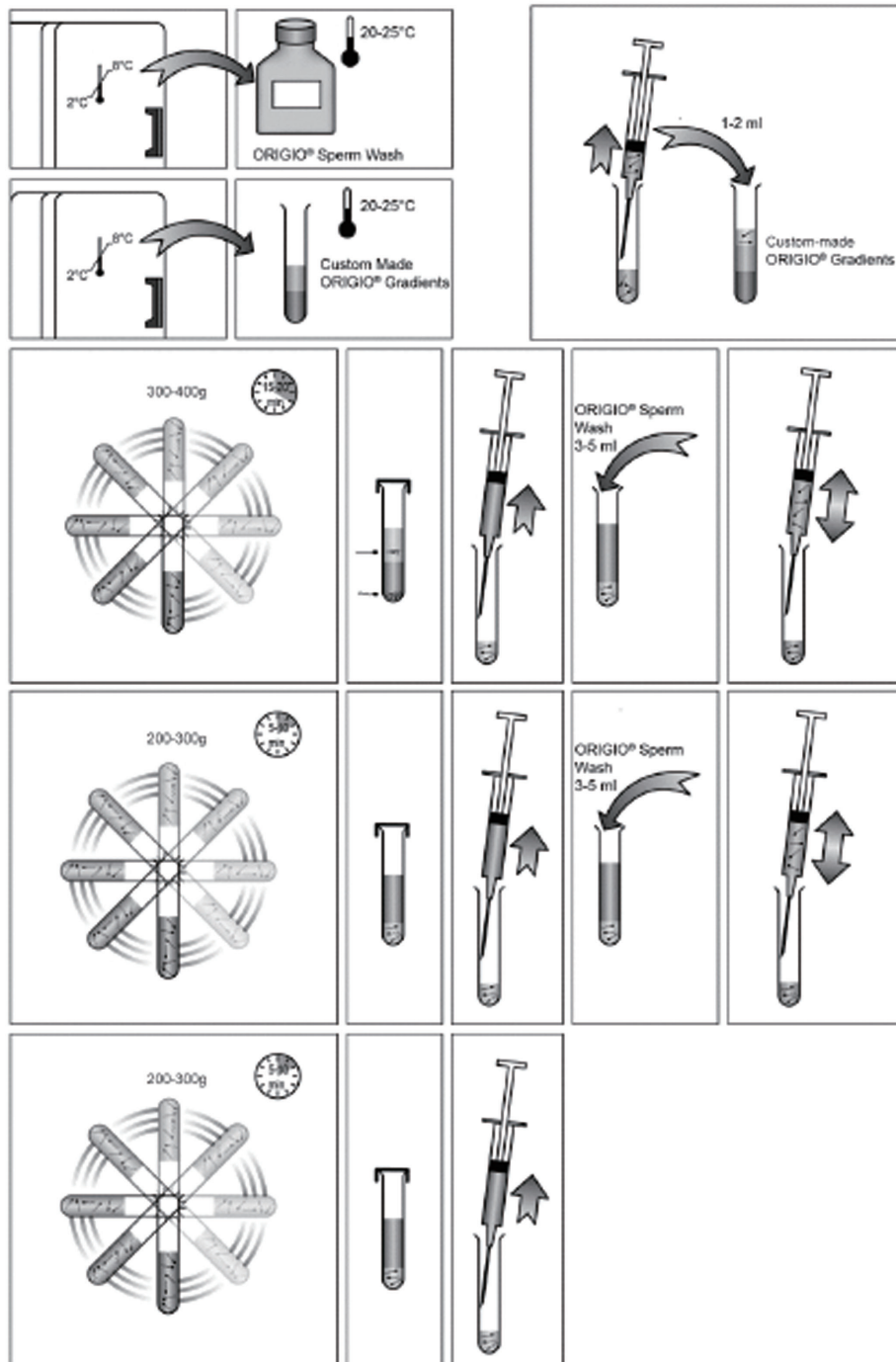
ORIGIO® Gradient™ 100	ORIGIO® Sperm Wash	End result
8 ml	2 ml	= 10 ml lower phase 80% solution
4 ml	6 ml	= 10 ml upper phase 40% solution

2. 試薬を予め室温(20-25°C)に置いておいてください。
3. 精液 1-2mL ごとに、密度勾配液は上層 (ORIGIO® Gradient™ 40) 1-2mL、下層 (ORIGIO® Gradient™ 80) 1-2mL を使用してください。密度勾配液は準備をしてから短時間で使用する事が望ましいです。
4. 液化した精液を最大 2mL まで密度勾配液の上に静かに積層してください。精子の回収量が低下する恐れがあるため、多量に積層し過ぎないように注意してください。
5. 300-400g 15-20 分で遠心分離を行ってください。精液所見によっては条件を適宜調整してください。
6. 上澄みを取り除き、新しい滅菌チップを用いて、ORIGIO® Sperm Wash 3-5mL を入れた清潔な遠心管にペレットを移してください。
7. 200-300g 5-10 分で遠心分離を行ってください。上澄みを取り除き、再度同じ工程を繰り返してください。
8. ペレットをその後の作業に適した培養液で再度懸濁し、精子の運動性と濃度を測定してください。
9. 必要に応じて適切な精子濃度になるよう希釈してください。



# ORIGIO<sup>®</sup> Gradient<sup>™</sup> 100

密度勾配法用メディウム



MKT\_CM\_03\_IFU\_ver2\_August2021



CooperSurgical<sup>®</sup>  
Fertility Solutions